

令和4年度

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

# 相双域内選考作品集

～ これまでと これから繋ぐ 十七字 ～

(令和4年度キャッチフレーズ)



福島県教育庁相双教育事務所

表紙絵

題『みんなのふるさと福島』

木幡夏帆さん、板橋玲奈さん、木幡圭吾さん、

星見心陽さん、小林瑞季さん、阿部友花さん

(南相馬市立太田小学校6年生)

## 令和4年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

### 相双域内選考作品集の刊行にあたって

福島県教育委員会主催の「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」は、子どもたちが、学校や家庭、地域の人との体験活動や交流活動を通して、感じた思いや願いを17音で表現し、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、人と人との絆を深めることをねらいとしています。

平成14年度にスタートした本事業は、今年度で21回目を迎え、県全体で42,635組の応募がありました。

相双域内からは、「絆部門」に4,419組、「ふるさと部門」に1,985組、合わせて6,404組の応募をいただきました。その中から最優秀賞に1組、佳作に3組が入賞しました。県全体の42,635組の中から選ばれたことは、素晴らしいことです。

この選考作品集は、相双域内から応募された6,404組のうち、入賞作品、二次審査通過作品及び一次審査通過作品の328組をまとめたものです。

特に「ふるさと部門」では、震災後のふるさとが復興へ向けて歩む姿を表現した作品や新型コロナウイルス感染拡大により中止等となっていた地域の伝統行事やイベント等の再開を喜ぶ気持ちを詠んだ作品が多く寄せられました。

このようにたくさんの応募があったことは、相双域内の皆様に、本事業の趣旨を十分に理解していただいていると、改めて実感しております。これからも、人と人とのつながりと豊かな体験活動等を通して、さらに家庭や地域の絆を深めていただきたいと思います。

最後に、毎年本事業にご協力をいただいております各市町村教育委員会をはじめ、各学校、関係機関並びに作品を応募された皆様に心より感謝申し上げ、刊行のあいさつといたします。

令和5年1月

福島県教育庁相双教育事務所長 横山 修

### 掲載作品組数

| 所属学年  | 絆部門 | ふるさと部門 |
|-------|-----|--------|
| 小学1年生 | 32  | 7      |
| 小学2年生 | 22  | 20     |
| 小学3年生 | 23  | 13     |
| 小学4年生 | 24  | 4      |
| 小学5年生 | 25  | 14     |
| 小学6年生 | 27  | 11     |
| 中学1年生 | 25  | 9      |
| 中学2年生 | 23  | 12     |
| 中学3年生 | 22  | 15     |
| 合計    | 223 | 105    |

最優秀作品（ふるさと部門）

野馬追で  
父の背を見て  
あこがれを  
中村二中 二年 岩本 瑠華

いつの日か  
親子で出たい  
夢語る  
父 岩本 宏美

佳作作品（絆部門）

夏祭り  
父の浴衣で  
気合い入れ  
原町二中 三年 山岸 明

浴衣着に  
若き自分を  
重ね見る  
父 山岸 光男

色白な  
兄の腕見て  
嫉妬する  
原町三中 二年 村田 絢音

日焼け肌  
努力の証  
気にするな  
兄 村田 一真

佳作作品（ふるさと部門）

鹿狼山  
山頂からの  
良い景色  
尚英中 二年 高野 明飛

移り行く  
ふるさとの景色  
知る山よ  
母 高野 洋子

二次審査通過作品（絆部門）

一次審査通過作品（絆部門）

お父さん ゴミの分別 しっかりね  
捨てるとき 娘の厳しい 目が光る

せ中ふみ カかげんは いかがか  
マッサーシ プロの手いらぬ 子の重さ

家族増え 夜空に探す 五つ星  
見つけたよ カシオペア座が 五人家族

つゆ明けて 葉から飛び出た ツバメの子  
夏空に 親の軌跡を なぞるひな

かっこよく うまくきってね お母さん  
まかせてね バリカンはさみ 二刀流

使えずに こっそりバッグに 予備入れる  
使ってね 母の日ハンカチ またあげる

コロナ禍で 会えない祖父母へ 手紙出す  
漢字増え 成長感じる 手紙かな

弟と みそ汁作り 母を待つ  
だし入れず 味がしないよ でもうれし

初部活 ひたすらもがいた 三年間  
お疲れ様 母も引退 迷コーチ

夏の家 松川浦の 塩の味  
父と子で 浜風うけて 涼む夏

ゆりの花 おはかへの道 つづいてる  
墓掃除 孫と磨きし 墓碑いつつ

こしてきた 今ではここが ふるさとだ  
年老いて 孫に魅かれて 新転地

石神二小 三年 山川 優愛  
父 山川 良太

中村一小 四年 佐藤 詩亜  
母 佐藤 智恵子

桜丘小 四年 千葉 敬太郎  
父 千葉 拓真

鹿島小 四年 門馬 博  
母 門馬 ひとみ

川内小中学園 五年 堀籠 翔太  
母 堀籠 幸

八幡小 六年 高橋 美穂  
母 高橋 ことね

原町二小 六年 増田 玖莉亜  
母 増田 和美

向陽中 一年 六角 幸汰郎  
母 六角 美沙

ふたば未来学園中 三年 齋藤 琴音  
母 齋藤 環

大野小 五年 佐藤 星鈴夏  
父 佐藤 貴幸

太田小 五年 櫻井 翔太  
祖母 青田 孝子

小高小 五年 風間 陽和  
祖母 田中 充代

【小学校 一年生】

ままきいて あのねあのね なんだっけ  
毎日の でき事話す 楽しそう

てんとはり ベグはぼくが うつからね  
汗をかき ベグ打つ音の たくましさ

かたたたき とうさんのかた いわみたい  
小さな手 背中であんじる 子の成長

はなびって えがおにさせる まほうだね  
花火見て 心もきれいな 虹色に

夏休み 家にもいたね なまけもの  
ほんとうだ ここにもいたね ライオンが

なつやすみ やさいがいっぱい かごのなか  
朝露や 足跡のこし 孫帰る

おかあさん 百パーセント だいすきよ  
愛し子よ 赤子のなごり 丸い顔

よるごはん やさいのかわむき がんばるぞ  
子の成長 黙って見守る 忍耐力

ママごめん 足だけのはずが 頭から  
「足だけよ」言ったそばから 波かぶる

かぶとむし あなたもすこい ひやけだね  
愛娘 あなたも負けない 日焼けだよ

じじばばに あいにくたけど ますくあつい  
大切に 想う人ほど 躊躇する

パパみてた？ はじめてシニート ぼくきめた  
パパ見えない まさかシニートを 決めるとは…

福田小 一年 櫻井 愛結  
母 櫻井 友梨恵

新地小 一年 駒木根 奏梧  
母 駒木根 愛美

駒ヶ嶺小 一年 吉田 智哉  
父 吉田 幸弘

駒ヶ嶺小 一年 八巻 穂乃香  
母 八巻 衣里子

中村一小 一年 大塚 千晶  
父 大塚 聡

中村一小 一年 後藤 菜那  
祖母 宮本 よね子

中村一小 一年 中村 日葉里  
母 中村 美由紀

中村二小 一年 今野 迅  
母 今野 由美子

中村二小 一年 相沢 ふづき  
母 相沢 遥

中村二小 一年 高橋 百愛  
母 高橋 百合加

桜丘小 一年 中井田 実鈴  
母 中井田 佑実

桜丘小 一年 園分 瑛志  
父 園分 伸志

ママのおお いつもおこって おにのにおお  
ごめんねと いつもねてから なみだぐむ

あかちゃんに はやくみるくを あげたいな  
目に浮かぶ 立派で小さな お母さん

おとうさん なつでもそとで かくれんぼ  
父隠れ 気がつきゃ鬼は 家の中

なつやすみ あさがおよりも はやおきだ  
早起きは？ あさがおそろそろ しおれてる

おかあさん あんせんうんてん じょうずだね  
子を見せて ベルトと気持ち 引き締める

コロナ禍で 帰郷叶わず 桃送る  
ももかじり じいちゃん想う 夏休み

だんぼーる かおだすおとうと かたつむり  
わたしもと じゃれる姉弟に ほほゆるみ

パパ、わたし、あさがおみたいに せがのびた!!  
変わりゆく 娘の成長 喜ばしい

めしあがれ ひとりでやけた たまごやき  
自信作 今では越えたね 母の味

おこられた すなおにいえない ごめんなさい  
就寝後 吐りすぎたと 日々反省

ママねてる となりでぼくも ひるねする  
愛しさを 薄目を開けて かみしめる

べちゃんこに なったあさがお はねみたい  
思い出も 色あせぬよう 押し花に

あわだらけ はじめててつたう さらあらい  
「おもいね」と がんばる子の手 たくましく

あさがおで おしはなづくり たのしいな  
パパ宛の 押し花便りで サプライズ

飯豊小 一年 細川 晴生  
母 細川 和代

飯豊小 一年 小谷 穂花  
母 小谷 美穂

日立木小 一年 門馬 早希  
父 門馬 弘幸

原町一小 一年 綾部 颯愛  
母 綾部 いずみ

原町一小 一年 小迫 あい奈  
母 小迫 千都子

原町三小 一年 山崎 三男  
祖父 山崎 侑杏

原町三小 一年 宮本 有佳理  
母 宮本 理美

原町三小 一年 門馬 凜和  
父 門馬 康太

高平小 一年 鈴木 大花  
母 鈴木 佳代

太田小 一年 村上 姫菜  
母 村上 亜由美

石神一小 一年 白瀬 斗真  
母 白瀬 恵里

石神二小 一年 鈴木 栢矢  
母 鈴木 みゆき

石神二小 一年 柴田 羚牙  
母 柴田 舞

鹿島小 一年 只野 孝将  
母 只野 裕子

すこいおと とおくのそらで ひかっている  
耳ふさぎ 怖がる娘を 抱きしめる

おてつだい かたをももみ ままえがお  
ありがとう 癒しのパワー 小さな手

おてつだい やってみてわかる たいへんさ  
だいじょうぶ しぜんとみにつく つみかさね

親の手を 離し登校 たくましく  
らんどせる おもいおもいな さみしいな

おねえちゃん よんであげるよ どれがいい  
妹に 読み聞かせをする 小さな母

「触れるよ」 カブトムシって カッコいい  
「平気」と言う 小虫にふるえる 小さな手

なつとうは ぼくがませるよ まかせてね  
ネバネバに 息子の愛が こもってる

「ドンドンドン」 こわくてママの 手をにぎる  
小さな手 ぎゅっにとぎって みる花火

とんで行く 見上げたボール ひこうき雲  
ボール拾い 日に日に距離が 伸びていく

お兄ちゃん こんどはわたしが しまうばん  
洗たく物 ぼくがたたんで 妹へ

ちちどやる ポケモンしりとり たのしいな  
スマホ持ち 必死に覚える ポケモンを

弁当の すきまうめるは ミニトマト  
べんとうの すきまにあるやつ ぼくにがて

たくさんの セミのぬけがら 見つけたよ  
取りすぎて パパがママに 怒られる

鹿島小 一年 田中 恵麻  
父 田中 正泰

鹿島小 一年 森 涼葉  
母 森 智子

双葉南小 一年 荒木 咲恋  
母 荒木 涼子

檜葉小 一年 鈴木 教弘  
父 鈴木 有人

広野小 一年 坂本 華菜  
母 坂本 美沙子

新地小 二年 大久保 昌紀  
母 大久保 昌紀

新地小 二年 菅野 佑  
母 菅野 翔子

駒ヶ嶺小 二年 渡部 歩  
母 渡部 由加利

大野小 二年 中城 皓希  
父 中城 誠

山上小 二年 畑中 乃彩  
母 畑中 蓮翔

山上小 六年 畑中 蓮翔  
母 畑中 蓮翔

中村一小 二年 佐々木 春瑠  
父 佐々木 健次

中村二小 二年 原 愛美  
母 原 湊

中村二小 二年 阿部 陽菜美  
父 阿部 智光

ばあだべて ぼくがそだてた ミニトマト  
来春は ばあど作ろう きゅうりなす

桜丘小 二年 祖母 屋仲 脩志  
渡辺 美智子

ギョツとする 感じるぬくもり うれしいな  
つないだ手 大切にしたい 宝物

川内小中学園 二年 母 菅波 凱翔  
菅波 弘子

しゃぼん玉 空からいっちゃん みてるかな  
しゃぼん玉 お盆の空に 高く舞う

飯豊小 二年 母 池田 あやね  
池田 真弓

【小学校 三年生】

菅原 直恵  
菅原 莉瑛

あきちゃった コロナたいさく でもやるよ  
第〇波 ため息続く 3年間

飯豊小 二年 母 林 桔平  
林 麻記

またあるの? 洗濯物が 出るわ出る  
おねがいね わたしは水着 姉はこれ

新地小 三年 母 阿部 朱莉  
阿部 仁美

おなかすいた 今日ごはんは なんだろうな  
帰宅後に 家に飛び交う 「ご飯なに?」

日立木小 二年 母 齋藤 美空  
齋藤 千鶴子

海に行き 見つけた貝で せいくらべ  
砂浜に 並ぶ貝と子 頬ゆるむ

駒ヶ嶺小 三年 叔父 北原 七海  
松岡 真也

トランペット ねえねみために ふきたいな  
妹と 口突らせて アンサンブル

原町一小 二年 姉 菅野 汐莉  
菅野 凧沙

おじさんが 帰ってきたよ うれしいな  
帰れたよ 今年の夏は 遊ぼうね

中村一小 三年 母 渡邊 陽  
渡邊 泉

しあいだね しっかりとれた フライボール  
飛ばさないで 息子が守る 守備位置に

原町三小 二年 母 金谷 啓汰  
金谷 美喜

お母さん 重たい荷物 ぼく持つよ  
ありがどう やさしい息子が 自慢です

中村一小 三年 母 横山 蓮志  
横山 舞子

ころんでも ママのだっこで かいふくだ  
「ママだっこ」 あとどれくらい 聞けるかな

高平小 二年 母 堀内 永吏  
堀内 沙紀

盆休み みんな集まり パーベキュー  
盆休み みんな集まり パタンキュー

中村二小 三年 母 佐々森 蒼我  
佐々森 妙子

ひっこした あの子といった なつまつり  
スマホ見て また行きたいね 夏まつり

大夔小 二年 母 木幡 凛花  
木幡 真希

十七字 笑い涙 イベント化  
母ネタで もりあがるよね ぼくと父

桜丘小 三年 父 伏見 唯花  
伏見 隆幸

なつやすみ ままはしごとで さみしいな  
まってるね 早く帰るよ すこしでも

石神一小 二年 母 小河 杏萌  
小河 祐美

あついから うみでいっぱい あそぼうよ  
砂浜で 遊ぶ姿を 見守りたい(隙)

桜丘小 三年 母 末永 侑方  
末永 知百

おべんとう きれいにつめよう ぎゅっぎゅっぎゅっ  
ワインナー 切ったつもりが 娘の手

石神二小 二年 父 菅野 凧彩  
菅野 智行

せいくらべ 兄のしん長 ぬかせるか  
まけないよ まだまだぼくが 大きいよ

磯部小 三年 母 横山 寧々  
横山 佳恵

たまにする テレビ電話は さびしいな  
会いたいね 3年ぶりに 手をつなぐ

上真野小 二年 母 大和田 莉愛  
大和田 裕香

夏の夜 練こう花火 だれがかつ  
いざ勝負 練香花火 ママの勝ち

原町一小 三年 父 内城 悠花  
内城 弘志

おかしいな? ヤル気スイッチ 見あたらない  
宿題は? いつの間にやら ログゼに

菅葉小 二年 母 山内 莉愛  
山内 真奈美

パパをまつ 今日もうとうと ゆめの中  
明日こそは 早く帰ると 誓う父

原町一小 三年 母 松本 優那  
松本 真由美

アスレチック 高いところで たすけよぶ  
やっぱりか さっきの勢い どこいった

広野小 二年 父 坂本 悠翔  
坂本 尊士

元気かな 今年の夏も 会えないね  
成長を 写メで送る 夏休み

原町二小 三年 母 大橋 八真斗  
紺野 寿枝子

ママだって おこりたくない 暑いのに  
ほんとはね ママのきもちは わかるから

広野小 二年 母 明村 杏奈  
明村 愛奈

夏休み 今日ほくが かんごした  
髪洗う つたないその手 心地良く

じいとぼく パークゴルフで 一勝負  
孫すこし ホールインワン 先越され

原町二小 三年 祖父  
大谷 玲雄  
大谷 哲夫

また買って すぐにつまきき きつくなる  
また買うの? 見れば母より 大きい足

八幡小 四年 母  
上遠野 友里佳

夏休み じいちゃんぼくの 先生だ  
孫のため 宿題見ながら 脳トレだ

原町二小 三年 祖父  
五十嵐 圭  
五十嵐 隆幸

「あつ時間。」 みんなのために ごはんたく  
おいしいよ 今日炊き立て ありがどう

中村一小 四年 母  
佐藤 穂香  
佐藤 かおり

もしかして 流行り病か 落ち着かず  
かせなのにな うるさい母に あきれ顔

原町三小 三年 母  
本間 美鈴  
本間 遥

夏の海 こんがり焼けた ぼくの肌  
監視する 親の身体は 2色いろ

中村二小 四年 父  
渡邊 明吾  
渡邊 武佳

ホウセンカ そぼのちからで そだつ花  
孫の花 大きく育て 一番に

原町三小 三年 祖母  
伊藤 美桜  
伊藤 玲子

おばあちゃんち あつという間に 帰る時間  
祖母宅へ 泊まる数日 羽伸ばす

中村二小 四年 母  
吉田 柗香  
吉田 香奈恵

顔見ると おにぎりうかぶ おばあちゃん  
おはようの 声より先に おにぎり

高平小 三年 祖母  
渡部 未結  
佐藤 芳子

十さいは おさけを買えぬ 事を知る  
焼酎が 虫採る罠に 消えていく

桜丘小 四年 父  
田原 卓生  
田原 啓太

コロナ禍で 三みつ守ろう お母さん  
コロナでも 心の距離は ゼロでいい

大薮小 三年 母  
佐々木 蒼斗  
佐々木 裕美

ママにだけ みつになるけど 今日10秒!!  
10秒も?! 笑顔と元氣 満タンだ!!

原町一小 四年 母  
加藤 寿奈  
加藤 みゆき

赤ちゃんが 泣いて一番 かけつける  
世話好きの 子供すっかり お姉ちゃん

石神一小 三年 父  
阿部 由依  
阿部 正和

夏休み 楽しい日々は すぐ終わる  
夏休み 母にとっては 長かった

原町二小 四年 母  
阿部 結愛  
阿部 美香

大好きな ママのべんとう たからばこ  
空っぽが ありがどうより 恩返し

石神二小 三年 母  
古川 心陽  
古川 亜希子

アルバムの ぼくをだく母 やさしい目  
覚えてて 成長しても 愛同じ

原町二小 四年 母  
河西 玖我  
河西 貴美

せんぶうき うちゅう人だよ 楽しいな  
なつかしい やっぱり夏は 宇宙人

小高小 三年 母  
三浦 優愛  
三浦 順子

ちよんまげと いっぱんむすびを リクエスト  
かかと上げ ちよんまげ結うの 限界か

原町三小 四年 母  
鈴木 歌倫  
鈴木 仁美

ははのあじ まねしてつくった たまごやき  
うちのあじ かぞくのために 子がつくる

双葉北小 三年 母  
田中 里奈  
田中 幸子

ベットきた 今日からわたし 一人べや  
ひとり部屋 ちよっと心配 夜ふかしが

原町三小 四年 父  
大内 美空  
大内 勝

【小学校 四年生】

朝ごはん えがおを作る エネルギー  
朝の顔 仕事頑張る エネルギー

大野小 四年 父  
金澤 侑季  
金澤 裕高

縄とびの とべないわざを もう特訓  
リズムよく 回数重ねる 二重跳び

石神二小 四年 父  
菅野 陽生  
菅野 智行

手の平を 合わせてみると もう同じ  
かわいいね まだちいさいね もう同じ

大野小 四年 母  
齋藤 純兵  
齋藤 由美子

夜ごはん ぼくも作るの 手伝うよ  
お手伝い こうして受け継ぐ 母の味

鹿島小 四年 母  
渡部 陽翔  
渡部 幸恵

夏祭り 屋台も人も いっぱいだ  
久しぶり はぐれぬように 手をつなぎ

大野小 四年 父  
青田 悠里  
青田 規秀

まけないぞ しょうぎのあいては おにいちゃん  
まだまだだ まけてたまるか はい王手

鹿島小 四年 母  
北元 悠成  
北元 恒志

【小学校 五年生】

|                                             |                        |                  |                                          |            |                  |
|---------------------------------------------|------------------------|------------------|------------------------------------------|------------|------------------|
| 手を引かれ ひまごと二人 トマトがり<br>ひいばあど 熱々ほおぼる 夏のヒザ     | 上真野小 四年 曾祖母            | 大岩 ヨシ<br>高橋 歩夢   | 「気をつけて」 父を見送る 夏休み<br>「さあ行くぞ」 暑さ忘れる 子の姿   | 飯豊小 五年 父   | 高五 莉璃亜<br>高玉 武将  |
| はじめての 花火大会 楽しいな<br>わいわいと 楽しむ姿 ほほ笑ましい        | なみえ創成小 四年<br>なみえ創成中 三年 | 瀬川 悠輝<br>瀬川 彩那   | 母子日記 うるっとなみだ ありがとう<br>ありがとう その一言で 頑張れる   | 飯豊小 五年 母   | 安斉 遥<br>安斉 美沙子   |
| お母さん 剣道のヒモ きつすぎる<br>あんたまた 夏休み中 太ったな         | 葛尾小 四年 母               | 杉本 龍牙<br>杉本 里美   | へその緒と 教えられても ホントかな<br>箱の中 小さな繋がり 思い出す    | 日立木小 五年 母  | 大迫 凜藍<br>大迫 寿子   |
| 背くらべ 小さくなってる おばあちゃん<br>負けないぞ 重さと年は いつまでも    | 広野小 四年 祖母              | 松本 航河<br>北郷 和子   | 動いたよ 早く会いたい 赤ちゃんに<br>お腹なで 顔つきすつかり お姉ちゃん  | 原町一小 五年 母  | 鈴木 わかな<br>鈴木 史帆  |
| 分かりやすい 教えようずな お父さん<br>「ここは何」 聞かれてこっそり スマホ出す | 福田小 五年 父               | 荒 日和<br>荒 裕太郎    | 夕飯は ぼくが一人で 作るから!!<br>またひとつ 大人に近付く 夏休み    | 原町一小 五年 母  | 東海林 冬聖<br>東海林 希望 |
| 手をあげろ 大きな背中が ぼくの的<br>水鉄砲 にやりとほほ笑み 死んだふり     | 新地小 五年 父               | 川崎 蓮武<br>川崎 智義   | 山ずみの 宿題みても やるきです<br>願わくば やるきの神よ おりてきて    | 原町三小 五年 母  | 志賀 望英瑠<br>志賀 佳世  |
| こっただよ むかえ火たいて 祖父母待つ<br>白煙に 再会願う 子の笑顔        | 新地小 五年 母               | 大友 愛琉<br>大友 あゆみ  | 玄関に はこうとしていた くつがない<br>お母さん 今日はこのくつ 借りてくね | 大夔小 五年 母   | 村松 裕実<br>村松 空彩   |
| お母さん 一人でカレー 作ったよ!!<br>帰宅して 匂いと娘の姿に 笑顔咲く     | 大野小 五年 母               | 新開 心優希<br>新開 恵理子 | 真っ黒に 焼けたお兄ちゃん かっこいい<br>甲子園 観に来てくれて ありがとう | 太田小 五年 兄   | 渡邊 花珠<br>渡邊 慎之介  |
| 陶芸で 集う幸せ 母娘作<br>思い出と 幸せ注ぐ マグカップ             | 八幡小 五年 母               | 武内 真智子<br>武内 絢音  | お母さん ぼくでも料理 作れるよ<br>頼もしい どんどんレシビ 覚えてね    | 石神二小 五年 母  | 田邊 樹希<br>田邊 菜菜美  |
| おさいほう 糸がからまり もう一度<br>針の穴 通してもらう 娘の目         | 中村二小 五年 母              | 村井 琴寧<br>村井 真紀子  | ばあちゃんと 宿題やると はかどるね<br>知ってるよ こっそり答え 見てるよね | 石神二小 五年 祖母 | 木幡 諒陽<br>中島 典子   |
| 夕ぐれの 波打ちぎわで 足ひたす<br>浜風と あそぶ娘に いやされて         | 中村二小 五年 母              | 高橋 遥香<br>高橋 幸枝   | 暑くても 外で遊ぶぞ 見ていてね<br>炎天下 帽子に日傘 汗たぐた       | 鹿島小 五年 母   | 多田 逞真<br>多田 祐子   |
| 子が水やり 育てた茄子を 食卓へ<br>今日もなす だけどあきない 母の味       | 桜丘小 五年 母               | 武田 奈央子<br>武田 大翔  | 庭先の 祖父と育てた 夏野菜<br>ほったたが まるでリスだよ 欲張って     | 富岡小 五年 母   | 井戸川 蔵治<br>井戸川 幸子 |
| トランプで ババに勝てたよ うれしいな<br>娘には わざと負けたと 負け惜しみ    | 桜丘小 五年 父               | 桑島 杏音<br>桑島 豊巳   | ごめんねと なかなか言えず 手紙書く<br>次々と タンスにたまる ラブレター  | 楢葉小 五年 母   | 猪狩 莉夏<br>猪狩 有未   |

ママとってー ママあそぼー!! ママいこう!!! 学び舎ゆめの森  
嬉しいよ たくさんたくさん 覚えたネ

齋藤 輝  
齋藤 やよい

予想外 対戦ゲーム 母強し  
驚いた? 実はパパより 強いのよ!

原町一小 六年 母  
中橋 空奏  
中橋 希有

## 【小学校 六年生】

ひいじじに 見せたい花火 あみ戸こし  
四世代 花火で笑顔の 花が咲く

新地小 六年 母  
伊藤 陸  
伊藤 佳枝

ばあちゃんの手でスイカ 育ってる  
孫のため いたずらやめて ハクビシン

原町三小 六年 祖母  
新妻 蒼史  
三浦 しん子

夏野菜 孫と収穫 なお楽し  
「手伝うよ」 熱中症の 見張り番

大野小 六年 祖母  
内藤 よし  
内藤 幹太

楽しいね 初めての海 大はしゃぎ  
海水浴 家に帰ると 皆昼寝

原町三小 六年 父  
青田 ことね  
青田 圭太

ハムスター 食いしんぼうで かわいいな  
眠れない 夜中カラカラ 回りだす

八幡小 六年 父  
愛澤 虹香  
愛澤 佳伸

お姉ちゃん わたしも行きたい つれてって  
嫌ダメだ お前と行くと 無駄遣い

大夔小 六年 姉  
原田 志織里  
原田 美咲

母さんと 背中合わせて せいくらへ  
気がつけば 同じ背丈に なった夏

中村一小 六年 母  
志賀 未宙  
志賀 梨恵子

もえちゃんに よく似てきたねと 言われるよ  
ほんとだね やっぱ姉妹だ うりふたつ

石神二小 六年 母  
早川 杏里  
早川 こず恵

泣き笑い みんなで遊ぶ 夢切符  
泣き悩み 試合の度に 稔り見え

中村二小 六年 祖母  
若林 遥空  
石橋 さち子

熱き球 カの限り 父に向け  
成長を グローブ越しに 感じとる

石神二小 六年 父  
佐藤 祐紀  
佐藤 紀美男

ちっちゃいな 祖母を見おろす 優越感  
何を言う!! 知恵と横幅 まだ負けぬ

中村二小 六年 母  
角 晃輔  
角 優香

分かっている 今からやるのに 言わないで  
口ごたえ? いや、成長と 受け止めよう

鹿島小 六年 母  
渡部 紀咲  
渡部 弥

SDGs 小さなことから コツコツと  
母よりも 意識が高い 六年生

中村二小 六年 母  
角 晃輔  
角 優香

「お姉ちゃん」 構ってほしくて 声かける  
呼ぶ声に 内心喜び 聞かぬふり

鹿島小 六年 姉  
海老原 美優  
海老原 美希

メンーコテードオー! いつか一本 取ってやる  
見せてくれ! お前の一本 受けて立つ!

桜丘小 六年 父  
橋川 侑生  
橋川 直広

朝早く 目覚めて父と ランニング  
影ふたつ 朝日を浴びて RUN弾む

鹿島小 六年 父  
渡邊 健  
渡邊 大介

反抗期 ごめんと言えない お年頃  
顔見れば 言葉なくても 伝わるよ

桜丘小 六年 母  
但野 結々  
但野 晴美

手伝うよ 花束抱え 値札貼り  
朝採りの 花を束ねて 袋詰め

八沢小 六年 母  
齋藤 樂人  
齋藤 三起子

父の背の 肩証ひかる お野馬追い  
初陣の 伝統つなぐ 支え愛

桜丘小 六年 父  
四栗 莉央  
四栗 拓未

たん生生日 親への感謝 芽生える時  
震災で 守った命 11歳

小高小 六年 母  
渡辺 結愛  
渡辺 理恵

ほしいもの 勝手にカゴへ バレるかな  
バレてるよ 気付かぬフリして 会計へ

飯豊小 六年 母  
杉目 朱莉  
杉目 祐子

二年ぶり とおした浴衣が つんつるてん  
おそろいの 浴衣も最後ね 六年生

飯豊小 六年 母  
佐藤 志津香  
佐藤 志津香

二年ぶり とおした浴衣が つんつるてん  
おそろいの 浴衣も最後ね 六年生

飯豊小 六年 母  
佐藤 志津香  
佐藤 志津香

二年ぶり とおした浴衣が つんつるてん  
おそろいの 浴衣も最後ね 六年生

飯豊小 六年 母  
佐藤 志津香  
佐藤 志津香

# 【 中学校 一年生 】

かくし味 心をこめた 卵焼き  
 和気あいあい 笑顔あふれる 朝ご飯  
 桜咲く 新たなスタート 深呼吸  
 懐かしき 変わらぬ校歌 我が母校  
 夏祭り 花火大会 楽しんだ  
 今までの 我慢した分 楽しんだ?  
 面倒だ 母の手伝い 無視をする  
 イイヤ顔 家事する姿 感謝する  
 友達と 母のゆかたで 夏祭り  
 手作りの ゆかたではしゃぐ わが娘  
 宿題は? セミよりうるさい 母の声  
 やってるよ セミより小さい 君の声  
 パドミントン 母と対戦 「もういっかい!」  
 スマッシュは 苦手な正面 「もう終わり!」  
 母の日に 感謝のきもち 絵にこめて  
 絵の仕事 目指す娘の ファン一号  
 まかせろよ 祖母の畑は このおれに  
 まかせたよ 背中が大きく 見える夏  
 しらす漁 みんなで手伝い 船迎い  
 ギックリ腰 息子の手伝い 頼もしい  
 しっぴだよ おこさぬように ひそひそ声  
 うたた寝の そばで聞こえる やさしひ声  
 猫の手も 借りたい夏の 最終日  
 猫とともに 宿題仕上げる 夏の夜

|      |    |        |
|------|----|--------|
| 尚英中  | 一年 | 高野 佳恋  |
| 尚英中  | 一年 | 高野 直樹  |
| 尚英中  | 一年 | 八巻 東真  |
| 尚英中  | 一年 | 八巻 衣里子 |
| 中村一中 | 一年 | 塩見 歩優  |
| 中村一中 | 一年 | 塩見 直哉  |
| 中村一中 | 一年 | 加藤 愛理  |
| 中村一中 | 一年 | 加藤 真有美 |
| 中村一中 | 一年 | 後藤 美希  |
| 中村一中 | 一年 | 後藤 美智子 |
| 中村二中 | 一年 | 齋藤 輝   |
| 中村二中 | 一年 | 齋藤 紗緒里 |
| 中村二中 | 一年 | 岡崎 紗和  |
| 中村二中 | 一年 | 岡崎 郁子  |
| 中村二中 | 一年 | 菊地 悠月  |
| 中村二中 | 一年 | 菊地 明日香 |
| 向陽中  | 一年 | 高橋 空人  |
| 向陽中  | 一年 | 高橋 桐子  |
| 向陽中  | 一年 | 河西 華彦成 |
| 向陽中  | 一年 | 河西 友美  |
| 向陽中  | 一年 | 岡田 陽   |
| 向陽中  | 一年 | 岡田 育子  |
| 原町一中 | 一年 | 中野 鼓太郎 |
| 原町一中 | 一年 | 中野 照代  |

姉が来る トマトだらけの 冷蔵庫  
 弟へ 姉の好物 忘れたか  
 卒アルをズーム機能で 見てる母  
 六年の 成長と老い かみしめる

父母隔離 一人でご飯 さみしいよ  
 いただきます ラインに入る 夜ご飯  
 はらへった お昼まだなの お姉ちゃん  
 ちよっとまで まもなく出来る 準備中  
 親子でチビ でもいっこうに ぬかせない  
 せひどうぞ 私はいつでも 大歓迎  
 「いってきます。」 元気な声で 母に言う  
 「ただいま」と 朝と変わらず 安心す  
 海開き 波の音より 声高く  
 懐かしや 静かな海に 笑い声  
 自分では 気付かぬうちに 声変わり  
 背は伸びた きらりと残る 幼な顔  
 中学生 おもいかばんに よろけちゃう  
 初登校 自転車こいで フラフラと  
 お母さん もう少しだけ ほっといて  
 反抗期 わかっていても 口を出す  
 反抗期 父とは常に ディスカッション  
 娘とは 適度なキープ ディスタンス  
 おさがりを 手わたす父は ほこらしげ  
 同じ部と 知って会話が はずむ夜

|          |    |        |
|----------|----|--------|
| 原町一中     | 一年 | 戸来 大輝  |
| 原町一中     | 一年 | 戸来 聖亜  |
| 原町一中     | 一年 | 松岡 美空  |
| 原町一中     | 一年 | 松岡 みゆき |
| 原町一中     | 一年 | 鎌田 康佑  |
| 原町一中     | 一年 | 鎌田 優子  |
| 原町三小     | 六年 | 末永 翔太  |
| 原町一中     | 一年 | 末永 さくら |
| 原町一中     | 一年 | 船田 心音  |
| 原町一中     | 一年 | 船田 久美子 |
| 原町三小     | 一年 | 今野 真子  |
| 原町三小     | 一年 | 今野 千栄子 |
| 鹿島中      | 一年 | 梅田 雅己  |
| 鹿島中      | 一年 | 梅田 貴弘  |
| 鹿島中      | 一年 | 菅野 雄大  |
| 鹿島中      | 一年 | 菅野 和子  |
| 鹿島中      | 一年 | 大久 奏音空 |
| 鹿島中      | 一年 | 大久 有加吏 |
| なみえ創成中   | 一年 | 戸川 景斗  |
| なみえ創成中   | 一年 | 戸川 由美子 |
| 広野中      | 一年 | 坂本 瑠花  |
| 広野中      | 一年 | 坂本 尊士  |
| ふたば未来学園中 | 一年 | 川嶋 暖大  |
| ふたば未来学園中 | 一年 | 川嶋 隆太  |
| 尚英中      | 二年 | 志賀 友則  |
| 尚英中      | 二年 | 志賀 美月  |

# 【 中学校 二年生 】

返事なし 娘見つめる おやごころ  
 うるさいな いつなくなるの この気持ち

電話越し 妹にエール 送る兄  
 テスト前 兄の一言 力湧く  
 飛んでいけ！ 母に捧げた 逆転打  
 嬉し泣き メイクぶっ飛び 快心打  
 父母と 三年ぶりの 盆踊り  
 背丈のび 母の浴衣で 夏祭り  
 餌をまき 群れる小鱈を 釣り上げる  
 肩並べ 釣り糸垂らす 夏の海  
 夏休み 金欠だから 家バイト  
 「推し活」を 後押しする父 娘推し  
 暑い中 母と卓球 汗だらけ  
 娘より はりきる母は 筋肉痛  
 疲れたな 今日のは揚げ物 買っていい？  
 よろこんで！ ガッツポーズの フライDay  
 涙目で じっと見つめる 舞台裏  
 県大会 心ふるえる 初舞台  
 息合わせ 思い響かす 県大会  
 2世代の 青春奏でる クラリネット  
 潮風の 懐かしふるさと 手を引かれ  
 幼き日 手つなぎ歩いた 散歩道  
 少人数 僕にとっては 大家族  
 地域の子 家族同様 無償の愛  
 楽しみは 知識の詰まった 挑戦状  
 解答を 笑顔で運ぶ 挑戦者  
 盆踊り 見おろす場所は やぐらから  
 見上げれば やぐらに我が子の 姿見え  
 時がきた テストの結果 地獄だな  
 徹夜して 机の前で 寝ていたね

|      |    |     |        |        |
|------|----|-----|--------|--------|
| 尚英中  | 二年 | 母   | 石川 直美  | 石川 侑果  |
| 中村一中 | 二年 | 母   | 石川 聖羽  | 石川 順子  |
| 中村一中 | 二年 | 母   | 佐藤 沙耶  | 佐藤 恵美  |
| 中村一中 | 二年 | 父   | 阿部 陽翔  | 阿部 淳一  |
| 中村一中 | 二年 | 父   | 佐々木 汐風 | 佐々木 友啓 |
| 中村一中 | 二年 | 母   | 山口 小春  | 山口 利恵子 |
| 中村一中 | 二年 | 母   | 佐藤 麻美  | 佐藤 光   |
| 向陽中  | 二年 | 母   | 鎌田 清華  | 鎌田 聖也  |
| 向陽中  | 二年 | 母   | 澁谷 佐良  | 澁谷 紀子  |
| 向陽中  | 二年 | 曾祖母 | 細田 スイ  | 佐藤 優介  |
| 磯部中  | 二年 | 母   | 阿部 智優  | 阿部 栄子  |
| 原町一中 | 二年 | 校長  | 佐藤 朝陽  | 高 広治   |
| 原町一中 | 二年 | 母   | 馬場 琉羽奈 | 馬場 千津子 |
| 原町二中 | 二年 | 父   | 光居 貴晃  | 光居 洋行  |

【 中学校 三年生 】

|                     |          |    |    |        |
|---------------------|----------|----|----|--------|
| 夜の海 花火と波の 大合唱       | 石神中      | 二年 | 父  | 高橋 那奈美 |
| 釣れないね 見上げた空に 大花火    | 石神中      | 二年 | 母  | 高橋 直人  |
| 今日の野菜 なんだか新鮮 夏の味    | 石神中      | 二年 | 母  | 小泉 蒼士郎 |
| 茄子ピーマン ちよつとかたいが 自信作 | 鹿島中      | 二年 | 母  | 高橋 実夢  |
| コロナより うちの母ちゃん 最強だ   | 鹿島中      | 二年 | 父  | 高橋 美和子 |
| 車内での 話す会話に 子の本音     | 鹿島中      | 二年 | 父  | 前田 陽咲  |
| 夏祭り ごめん今年は 友達と      | 鹿島中      | 二年 | 父  | 前田 浩二  |
| 夏祭り 今年はお家で お留守番     | 小高中      | 二年 | 祖母 | 佐久間 壮志 |
| コロナ禍で 祖母の電話で 癒される   | 川内小中学園   | 八年 | 父  | 遠藤 結   |
| 孫の声 いつの間にかやら 声変わり   | 川内小中学園   | 八年 | 父  | 遠藤 拓郎  |
| 最後の夜 炭火を囲み 快気祝      | 川内小中学園   | 八年 | 父  | 遠藤 結   |
| 妻コロナ 娘の手料理 腕あげる     | 川内小中学園   | 八年 | 父  | 遠藤 拓郎  |
| 部の後輩 次こそつれてく 大舞台    | ふたば未来学園中 | 二年 | 父  | 作山 心彩  |
| 先輩と 心通ずる 猛特訓        | ふたば未来学園中 | 二年 | 父  | 吉田 果歩  |
| 海風を ほほに感じて ペダルふむ    | 尚英中      | 三年 | 母  | 濱野 大吾  |
| おーい待て 息ぎれしながら ペダルこぐ | 尚英中      | 三年 | 母  | 濱野 大吾  |
| 出番なし それでも続ける 投球練習   | 中村一中     | 三年 | 父  | 中川 互   |
| 忘れない ひびく歓声 流れる涙     | 中村一中     | 三年 | 父  | 中川 魁   |
| コンクール 演奏支える 親の顔     | 中村一中     | 三年 | 母  | 羽柴 さとみ |
| 舞台袖 汗と涙の 一体感        | 中村一中     | 三年 | 母  | 羽柴 こずえ |
| 甥の声 テレビ電話で 癒される     | 中村一中     | 三年 | 甥  | 平田 みすず |
| ぼく早く そっちに行つて 遊びたい   | 中村一中     | 三年 | 甥  | 水梨 連   |
| はずかしい 応援来た母 通り越す    | 中村一中     | 三年 | 母  | 新開 希咲  |
| お疲れと 娘の背中に 思い込め     | 中村一中     | 三年 | 母  | 新開 恵理子 |
| ねえばあば 浴衣の着付け お願いな   | 中村一中     | 三年 | 祖母 | 菊地 永愛  |
| 頑張るね 着付けの為に リハビリを   | 中村一中     | 三年 | 祖母 | 菊地 裕子  |

受験生 遊ぶ暇無し 夏休み  
夏休み 家族旅行に 参考書

夏休み 宿題多い 大変だ  
宿題を 教えるつもりが 教えられ

反抗期 抑えられない 我が心  
受け止める 素直になる日 待ちわびる

腕すもう 父親の壁 もう少し  
我が子の手 知らぬ間に 大きな手

皆と行く 最後の夏の 晴れ舞台  
「アオハル」の 娘追っかけ 夏コンへ

母も着た 祖母が作った ゆかた着る  
かわいいね さすが私の 孫娘

だんだんと 兄弟親に 似てきてる  
何気ない ふとしたしぐさで 成長(とき)を知る

今年こそ 願いをこめて ホルン吹く  
あつい夏 願い続けた 大舞台

梅雨の時期 家にもいたか 積乱雲  
いっときよ 過ぎてしまえば 快晴よ

3分間 攻めて短し 攻められ長し  
三分間 全部出しきれ 三年分

木の陰に ラケット並べる 敗者たち  
木の陰に ラケット残し また一步

祖母亡くし 思い返せば 悔いだらけ  
ありがとう 生きてるうちに 言われたい

夏祭り 彩る花火に 願い事  
夏の夜に 子らと願う 鮮彩な花

お盆の日 先祖の迎え 子の花火  
新盆の 孫の花火に 入りこみ

中村二中 三年 相良 泰生  
母 相良 明日香

中村二中 三年 佐藤 愛里  
父 佐藤 弘隆

向陽中 三年 横山 斎  
母 横山 友紀恵

向陽中 三年 佐藤 楓真  
父 佐藤 裕介

向陽中 三年 阿部 倫子  
母 阿部 恭子

原町一中 三年 西 日和  
祖母 安川 美奈子

原町一中 三年 門馬 和紗  
母 門馬 忍

原町二中 三年 鈴木 綾乃  
母 鈴木 史帆

原町二中 三年 佐藤 創太  
母 佐藤 弥生

鹿島中 三年 中井田 眺里  
母 中井田 愛

鹿島中 三年 萩原 琉月  
父 萩原 伸一

鹿島中 三年 小林 海斗  
父 小林 友樹

榎葉中 三年 草野 智加  
母 草野 香美

広野中 三年 志賀 由佳子  
母 志賀 幸江

一次審査通過作品(ふるさと部門)

【小学校 一年生】

お父さん つかはぼくも きばむしやに  
嘶(いなな)きに 蹄の音が 夏知らせ

たべたいな おいしいももを デザートに  
風呂でみる 娘の尻は あかつき似

ふくしまに ひっこしてきて よかったね  
ほんどだね 思い出沢山 つくろうね

いけるかな ばばのそだった ふたばまち  
子と共に 歩いてみたい 双葉町

おへんじは きばむしやきぶん 「しょうちしたー」  
野馬追の 余韻に浸る 子供達

ひといっぱい 屋台もいっぱい はらいっぱい  
初めての 夏まつりみて はしゃぐ君

ハンモック みのむしみたい もりのなか  
あかとんぼ あさひをみたい そらのなか

【小学校 二年生】

田はたまで とんぼ空とぶ きらきらと  
懐かしの 母も遊んだ 散歩道

電話口 ほら聞こえるかと セミの音  
聞こえるよ 会えないけれど 同じ声

鹿狼山 家から見える 大きな山  
かろうさん おにぎりもって のぼりたい

そうましに いろんなまつり たのしいな  
野馬追いと 海と浜焼き 日焼け止め

中村一小 一年 伏見 琉生  
父 伏見 一仁

中村二小 一年 早坂 香音  
母 早坂 裕子

原町二小 一年 及川 海輝  
母 及川 香織

原町三小 一年 中川 唯菜  
父 中川 湧斗

原町三小 一年 三品 亮太  
母 三品 亜衣子

榎葉小 一年 渡邊 心桜  
母 渡邊 みゆき

榎葉小 一年 本多 曜  
父 本多 遼平

新地小 二年 杉目 咲子  
母 杉目 亮子

新地小 二年 伊藤 由男  
祖父 伊藤 日珂

新地小 二年 荒 隼人  
父 荒 歩佳

駒ヶ嶺小 二年 荒 隼人  
父 荒 歩佳

中村一小 二年 大法 由貴  
母 大法 冬美

なつやすみ ちかくの海で 魚つり  
復興の 実感覚える 船の列

中村二小 二年 八巻 陸隼  
父 八巻 史功

うまにのり 手をふるぼくに 大かんせい  
かんきやくの かんせい多く ママニヤリ

鹿島小 二年 菅野 玲音  
母 菅野 あゆ美

かつこい い わたしはやくのりたいな  
いつの日か 姉妹で出たい 野馬追に

中村二小 二年 佐藤 妃奈冠  
中村二小 四年 佐藤 姫愛冠

うまのはな さわってみたら さらさらだ  
馬さわる 輝く子の瞳(め) 笑みこぼれ

鹿島小 二年 木幡 瑛太  
母 木幡 美由紀

ひさしぶり おぼんにみんなで 花火のよる  
亡き父へ 庭で迎え火 子は花火

飯豊小 二年 松本 実希  
母 松本 裕美

【小学校 三年生】

はやくこい きばむしやはしる 夏休み  
ホラ貝の 鳴り響く音 夏本番

日立木小 二年 櫻井 快吏  
母 櫻井 綾乃

学びます 十二神楽の 伝統を  
復活だ 福田の宝 十二神楽

福田小 三年 菊地 蓮翔  
母 菊地 玉江

ぼうさいまつ 大きくなって まもってね  
孫とみる 家の跡地に 防災松

原町一小 二年 坂下 瑠菜  
祖父 坂下 昌弘

入道雲 こぼれる笑顔 波しぶき  
遠き日の 姿を重ね 親心

新地小 三年 渡邊 怜奈  
父 渡邊 浩司

なの花の めいろ毎年 たのしみだ  
追いかける 迷路で感じる 子の成長

原町一小 二年 小林 祥太郎  
母 小林 明恵

泳いだよ つるしのはまで なみザパン  
活き活きと 故郷の海に 咲く笑顔

新地小 三年 橘 孝太郎  
父 橘 寿史

海あそび マスクがとれて たのしいな  
海遊び 洗濯機まで 砂だらけ

原町二小 二年 本間 日菜  
母 本間 美喜子

魚つり ひらめにカレイ 大漁だ  
新地町 漁業盛んな すてきな町

駒ヶ嶺小 三年 早川 愛莉  
母 早川 麻美

ういじんで おじからごしんき プレゼント  
見どころは 御神旗奪う 騎馬武者ぞ

原町三小 二年 木村 心南  
母 木村 心

ドライブ中 そこ道だったと おしえられ  
時が経ち 忘れぬようにと 子に伝え

八幡小 三年 荒 菜白  
母 荒 由梨江

夏のあさ うまの足音 きこえるね  
騎馬武者が 野馬原駆ける 暑い夏

原町三小 二年 菊地 奏太  
母 菊地 由香

若様の かおをみようよと 人のなみ  
流れ山 ふるさど思い ふく涙

中村一小 三年 藤井 悠幸  
祖母 三浦 邦子

のまおいの ばふんをみつけ やすみしる  
武士達が ウイルスを討ち 駆けぬける

高平小 二年 高田 亜衣  
父 高田 貴文

ゴミひろい 相馬の海を 守るため  
ふるさとを 大切に思う 子が誇り

中村二小 三年 館岡 里歩  
母 館岡 清美

またみたい いつもみちが うまだらけ  
なつやすみ ひづめのおとで はじまるよ

高平小 二年 藤本 耀太  
母 藤本 小織

おいしいね すみびでやいた いかぼっぼ  
味わって 震災前の 浜の味

中村二小 三年 草野 亮太  
母 草野 あずみ

パカパカと リズムをききむ うまのおと  
野馬追いを 初めて見たよ 我が娘

石神二小 二年 中川西 ほたる  
母 中川西 美香

カニつりだ カニがさわれず くせんする  
我が息子 カニに遊ばれ 大笑い

桜丘小 三年 鈴木 颯真  
父 鈴木 永哉

くらやみの 空に広がる 花ばたけ  
彩りに 願い込め咲く 祈り花

石神二小 二年 岡田 到真  
母 岡田 愛海

ふっかつたー! 相馬野馬おい 人たくさん  
梅雨明けの 知らせと共に 野馬追が

桜丘小 三年 福留 尚央  
父 福留 隼人

野馬追いだ やつと見れたよ 馬の列  
久しいな 子と見る祭り 地元騎馬

石神二小 二年 田中 葵  
父 田中 佑紀

まつかわの よいしおどきは さんじだよ  
さかなつり はやくおさるの ぼくはむり

桜丘小 三年 水沼 義明  
祖父 大森 音碧

夏休み たくさん遊ぼう 大自せん  
子供らの 昼寝の顔に せみしぐれ

原町三小 三年 母

朝田 智哉  
朝田 麻美

にぎやかな 夏がこしは やって来た  
馬と人 街を色どる 野馬追いだ

原町一小 五年 母

今野 希衣  
今野 亜紀

ぼんかざり じいちゃんいるかな 手を合わせ  
ご先祖を 皆で迎える 盆かざり

原町三小 三年 母

菊野 八尋  
菊野 里絵

いつまでも 集まりたいな じいちゃん家  
じいちゃんち みんなあつまる 夏休み  
馬に乗り 郷大将へ あいさつを  
夏空に 響く口上 誇らしい

原町三小 五年 母

十河 麻理子  
十河 総一郎

### 【小学校 四年生】

のり・あさり まだまだあるね 相馬の海(さち)  
いつだって 作ってあげるよ ふるさとのお味

桜丘小 四年 母

大江 咲太郎  
大江 理絵

じいちゃんと 川のかなかけ 魚取り  
夏休み 思い出つくる 孫と漁

飯豊小 四年 祖父

坂本 優太  
坂本 章一

ドンドコン 地域の人と 息合わせ  
太鼓の音 町に心に 響いてけ

榎葉小 五年 母

青木 菫香  
青木 春香

いつもの 海までのさんぽみち きれいなうみ  
教えたよ 地震が来たら 高台へ

大甕小 四年 祖母

西内 琉翔  
稲村 成子

ながめれば きれいな海が 見える町  
通学路 いつも眺める 青い海

広野小 四年 父

山口 凛  
山口 潤

ぼくの住む この地に有るの? 里山は  
里山がアゝ 変わりし場所を 指でさす  
潮風と 太陽光る 海開き  
我がまちの 誇れる海で 笑顔咲く

日立木小 六年 祖父

山田 琳久  
山田 博信

### 【小学校 五年生】

新地町 自然ゆたかで きれいだな  
君の名に 願いを込めて 託す未来

駒ヶ嶺小 五年 母

坂元 新汰  
坂元 真弓

復興へ ひびかせ強く ほらがい  
野馬追の 歴史も学んだ 夏休み

中村一小 五年 母

齋藤 玲  
齋藤 麻奈

野馬追で 馬が大きく いさましい  
馬を見る 息子の横顔 父に似る

中村二小 五年 母

末 蕾夢  
末 香代

にわひかる 無数のほたる 星みたい  
ありがとう 命の光 舞う我が家

桜丘小 五年 母

菊地 優吾  
菊地 里美

野馬追いで 馬が興奮 大暴走  
カメラ持ち 子供が興奮 大連写

桜丘小 五年 母

八巻 さとみ  
八巻 さとみ

浴衣着て 盆唄うたう 夏の夜  
マスクとり 唄う盆唄 笑みうかへ

磯部小 五年 母

今野 萌衣  
今野 美由紀

父親と 海までさんぽ ダイエット  
富岡の 昔の漁港 思い出し

富岡小 六年 母

加藤 百花  
加藤 早苗

### 【小学校 六年生】

朝早く ばかばかひびく 馬の音  
目覚ましは 馬の足音 鳴き声と  
あと少し 母のふるさと 入れる日  
伝えたい 色濃く残る 思い出を

原町一小 六年 母

若林 玲奈  
若林 幸子

コロナ明け 待ちに待ったよ 野馬追いだ  
野馬追の ほら貝響く 青空に

原町二小 六年 母

星山 琉菜  
星山 真弓

里帰り 仲良しいとこと 夜雑魚ね  
寝姿は L・X・Tの 字のごとし

石神一小 六年 父

青田 瑠花  
青田 浩二

昨年より 明るくなった 夜の道  
家々の 明かりが つなぐ 町の未来

鹿島小 六年 祖父

櫻井 晴香  
松本 豊彦

なみえ創成小 六年 母

島山 泰稀  
島山 寿美江

なみえ創成小 六年 母

富岡小 六年 母

富岡小 六年 母

加藤 早苗

海の音 波に乗ってる 浮き輪たち  
よかったね 初めての海 菜しめて

広野小 六年 母 宍戸 優生  
宍戸 由香

復興の 田んぼ青々 稲元氣  
未だ半ば 青田道行く 小型バス

広野小 六年 祖父 小野 いすず  
芦川 銳章

待ちに待つ 川内村の 盆ダンス  
母もまた 友との再会 胸躍る

川内小中学園 六年 母 久保田 柚音  
久保田 美恵

### 【 中学校 一年生 】

野馬追いで 馬の足音 なつかしや  
耳すます 法螺貝の音 涙ぐむ

尚英中 一年 母 目黒 花音  
目黒 晴美

笛たいこ あんこ地蔵の 大福だ  
朝早く 餅丸めての 供養だね

尚英中 一年 母 伊藤 悠月  
伊藤 真由美

浜焼きの 匂いにつられ 活気つく  
震災後 近くて遠し 波の音

中村一中 一年 父 小野田 美咲  
小野田 将哉

野馬追の 武士の思いが 今残る  
一年の 想いを胸に 争奪戦

原町一中 一年 父 松野 僚輝  
松野 晃

音楽と 打ち寄せる波 かぶる夏  
夏祭り 浜辺と待った 十二年

原町一中 一年 母 菅野 莉央  
菅野 美紀

タイムスリップ あつい文月 戦国絵巻  
騎馬武者が 歴史を背負い 闊歩する

原町一中 一年 母 鈴木 真日瑠  
鈴木 香織

野馬追いの 甲冑姿に 胸躍る  
久々に 街に響く 蹄の音

鹿島中 一年 父 坂下 伶瑠  
坂下 祐介

わが家から 見えた聞こえた 打ち上げ花火  
コロナ禍の 近くて遠い 風物詩

富岡中 一年 母 井戸川 興光  
井戸川 幸子

ふるさとに ひびきわたる セミの声  
コロナ夏 子どもの声より セミの声

広野中 一年 母 倉田 晃快  
倉田 香苗

### 【 中学校 二年生 】

久しぶり 従姉妹と逢える 墓参り  
孫達が 仲良く集う 盆嬉し

中村一中 二年 祖母 八巻 莉奈  
八巻 由子

船はしる 月のあかりに てらされて  
大漁だ 笑顔がひかる 祖父と父

中村二中 二年 母 菊地 美温  
菊地 郁江

炎天下 頑張る父に 感謝状  
感謝状 暑さを越える 嬉しきよ

向陽中 二年 父 星 来瑠  
星 勇一郎

引潮で 死闘開幕 カニと我  
カニ釣りを 汗かき待つ ママ友と

向陽中 二年 母 伊東 美鈴  
伊東 民枝

近海の 恵み感じる 海の幸  
大海の 良さと怖さを 子に伝え

向陽中 二年 父 青田 健  
青田 姫来

背をこした 私も松も 成長期  
故郷で 大きく育つ 地域の要

磯部中 二年 父 荒 和花  
荒 武範

旬野菜 我が家はトマト 食べ放題  
健康と 笑顔あふれる オムライス

原町二中 二年 母 仲野内 渉  
仲野内 千寿子

街並みに 上り旗揺れ 胸躍る  
法螺貝や 蹄の駆け音 熱い夏

原町二中 二年 父 佐藤 昌記  
佐藤 夏萌

下校中 蛙見かけて ご挨拶  
散歩道 蝉とうぐいす 共に鳴く

檜葉中 二年 母 関谷 こまち  
関谷 久美

楽しみだ まるで初めての 場所だから  
喜びと 不安の交ざる 帰郷の日

学び舎 ゆめの森 八年 母 齊藤 羽菜  
齊藤 やよい

### 【 中学校 三年生 】

祖母振る舞う トマト料理は 相馬一  
おだてられ うれしさあまり 又作る

中村一中 三年 祖母 島村 杏路  
渡部 滋子

野馬追で 夏のいきおい もどる里  
ほらがいの ひびく夏の日 我が里に

中村一中 三年 母 中塚 結衣  
中塚 由利枝

|                                        |                       |                 |
|----------------------------------------|-----------------------|-----------------|
| 夏休み 母とながめる 青い海<br>波の音 イカ焼きホタテにご満悦      | 中村一中<br>三年<br>母       | 西槇 来瞳<br>西槇 紀子  |
| 耳澄まし とおくに蹄の音がする<br>鳴り響く 法螺の音連れ立ち 馬踊る   | 中村二中<br>三年<br>母       | 菊地 美乃<br>菊地 知子  |
| 蝉時雨 姿とどめる 今もなお<br>暮参り 故郷の空に 秋あかね       | 向陽中<br>三年<br>父        | 志賀 琥士郎<br>志賀 潮  |
| 知らぬ間に 野馬追始まり 盛り上がる<br>十一年 やっと帰れる 富岡町   | 原町一中<br>三年<br>三年      | 伊東 鈴夏<br>門馬 史玖  |
| だんだんと 戻りつつある 福の島<br>戻っても 忘れちゃだめよ あの地震  | 原町一中<br>三年<br>三年      | 高橋 魅海<br>田村 優登  |
| 馬上より 見下ろす景色に 夏感じ<br>娘吹く 法螺貝響く 夏の空      | 原町三中<br>三年<br>母       | 田仲 永愛<br>田仲 幸   |
| 馬たちと ころろ通った 相馬野馬追<br>初陣に ほころぶ笑顔 馬行列    | 石神中<br>三年<br>母        | 桑折 将真<br>桑折 恵美  |
| 夏終わる 球児の涙 箸止まる<br>白河の 関越え願う 夏の末        | 石神中<br>三年<br>母        | 吉田 愛華<br>吉田 小百合 |
| 伝統の 流れ山踊り 未来へと<br>いつの間に！ そんな想いで 踊ってた   | 鹿島中<br>三年<br>父        | 水谷 綾希<br>水谷 博行  |
| いざ初陣 凜と子と舞う 流れ山<br>母と舞い 伝統つなぐ 流れ山      | 鹿島中<br>三年<br>母        | 只野 寛子<br>只野 有花  |
| まちなかに ひづめが響く お行列<br>野馬追いの 由来教える わが子へと  | 小高中<br>三年<br>父        | 天野 史章<br>天野 徳   |
| ふるさとの ご飯の味は 母の味<br>ちよっとまで 父の味は どこいった!! | いいたて希望の里学園<br>九年<br>父 | 星 慎治<br>星 弘幸    |
| あの日から 変わった運命 今ここに<br>虹の空 おえかきちように 残る夏  | ふたば未来学園中<br>三年<br>母   | 門馬 沙英<br>門馬 真由美 |



